

第4章 土木建設

三 本州四国連絡道路

(一) 大三島橋 架橋地点の鼻栗瀬戸は、水際間隔約二八〇メートル、水深五〇メートルで大三島と伯方島を結ぶ橋でアーチ支間二九七メートルの単径間鋼ソリッドリブ2ヒンジアーチ橋である。この橋はアーチ橋としては支長間において世界第一四位、ソリッドアーチ橋としては世界第四位、日本では最長のアーチ橋で昭和五十四年五月十二日開通され、大三島ICから大三島橋を経て伯方島ICまで六・八キロが供用されている。

(二) 伯方・大島大橋 昭和五十六年三月に起工式が行われ大三島橋関連道路伯方島ICから大島島内の国道三一七号の交差箇所までの約四・五キロ区間の内伯方橋は橋長三二六・四メートル三径間連続鋼箱桁橋、大島大橋八四〇メートル（スプレースドル中心間）吊橋部五六〇メートルは単径間2ヒンジ補剛桁吊橋、側径間部一四〇メートルは四径間連続プレートガーダーで施工され、昭和六十三年一月十七日開通した。